

東洋史籍講読4－Ⅲ

科目ナンバリング HAA-407
選択必修 2単位

澁谷 由里

1. 授業の概要(ねらい)

「中国と台湾の近現代史の基礎をまなぶ(1)」

東山彰良の『流』(りゅう)をてがかりに、中国・台湾双方の近現代史を理解するうえで不可欠な、国際関係・国内政治・風俗・地理などについての基礎知識をまなびます。

2. 授業の到達目標

1、中華民国時代から戦後にかけての中国大陆と台湾、双方の歴史を理解できるようになる。

2、歴史だけではなく風俗・言語・地理・教育などについてもまなび、中国と台湾を総合的に理解するための基礎を体得する。

3. 成績評価の方法および基準

指定箇所についての口頭報告、および自主的研究に基づく報告(あわせて60%)

、最終レポート(ほかの履修者からまなんだこと、および秋期の研究計画について)(40%)

4. 教科書・参考文献

教科書

東山彰良 『流』 講談社文庫

参考文献

授業中に随時紹介する。

5. 準備学修の内容

指定箇所については各種辞典・事典で読み方や意味、概略を調べ、ノートにまとめて、授業で口頭報告ができるように準備してください。

自主的研究は、指定箇所からの発展課題を自分で設定するか、もしくは従来の自分の関心事に基づいて課題を設定して、口頭報告の準備をしてください。

6. その他履修上の注意事項

自分の担当は、責任をもってまっとうしてください。理由なく5回以上休んだり、報告をしなかったりレポートを提出しなかった場合は、単位を認定できません。ほかの履修者の報告もきちんと聞き、コメントペーパーや口頭で、建設的な質問や意見を出し、報告者の回答や教員の補足説明からもよくまなんで、秋期以降の学習につなげてください。

7. 授業内容

【第1回】 教員と履修者各自の自己紹介およびガイダンス、分担決め

【第2回】 『流』の歴史的背景(教員による講義1)

【第3回】 口頭報告の方法とレジュメ作成法(教員による講義2)

【第4回】 工具書の使い方(MELICでの実習)

【第5回】 口頭報告の準備

【第6回】 指定箇所についての学生の口頭報告1(4年生)

【第7回】 指定箇所についての学生の口頭報告2(2,3年生)

【第8回】 指定箇所についての学生の口頭報告3(2年生)

【第9回】 指定箇所についての学生の口頭報告4(2年生)

【第10回】 自主的研究に基づく学生の口頭報告1(4年生)

【第11回】 自主的研究に基づく学生の口頭報告2(2,3年生)

【第12回】 自主的研究に基づく学生の口頭報告3(2年生)

【第13回】 自主的研究に基づく学生の口頭報告4(2年生)

【第14回】 報告予備日、最終レポートの提出日

【第15回】 最終レポート返却と各自のふりかえり、秋期に向けての目標設定